

2

たしかな基礎力が

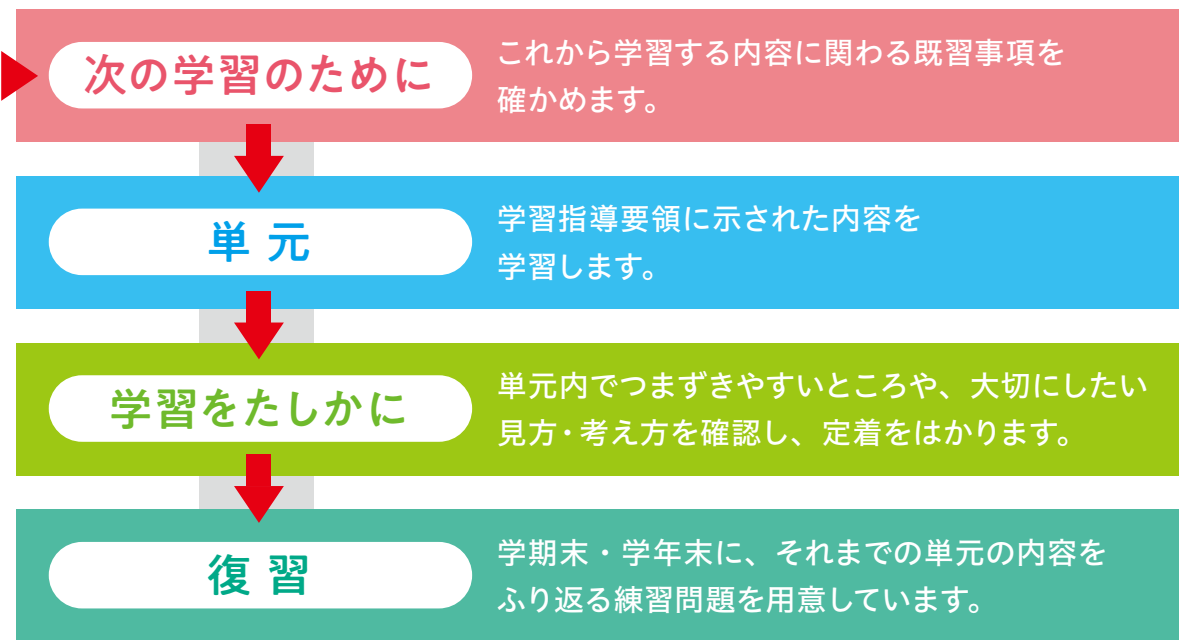
自信に

つながります。

- つなかりを大切にした単元構成 30
- 苦手やつまずきの克服と基礎・基本の確認 32
- 「倍」の単元の新設 36



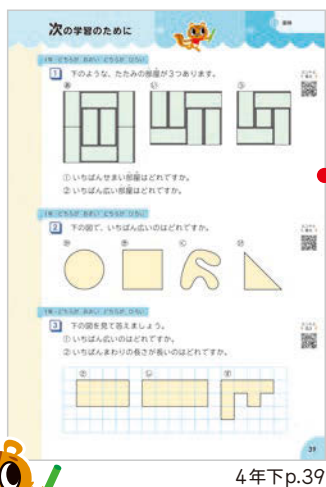
つながりを大切にした単元構成



次の単元や学年へ

大切なことは各コーナーでくり返し取り上げ学習内容の定着をはかります。

次学習のために



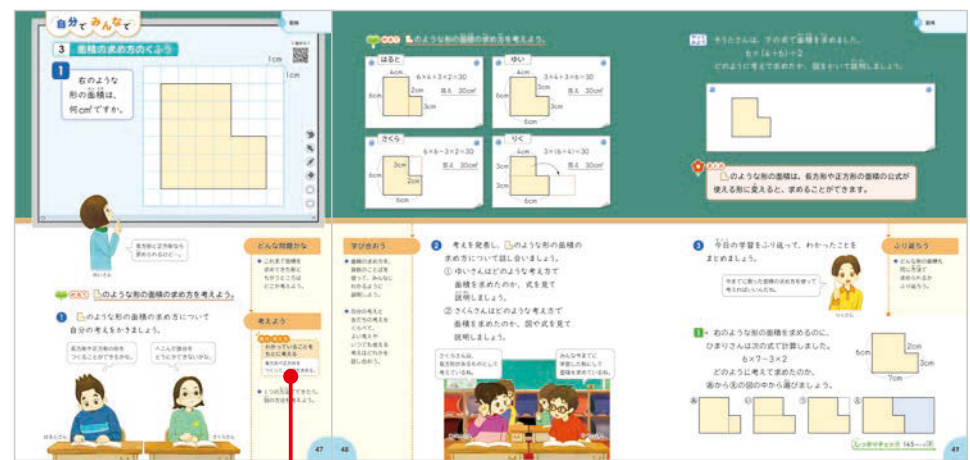
これから面積の学習をするよ。

単元

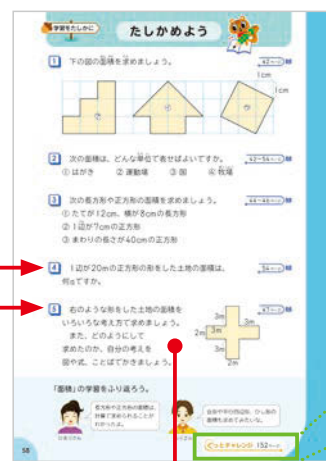


しっかりチェック 146ページ

本資料 p.40



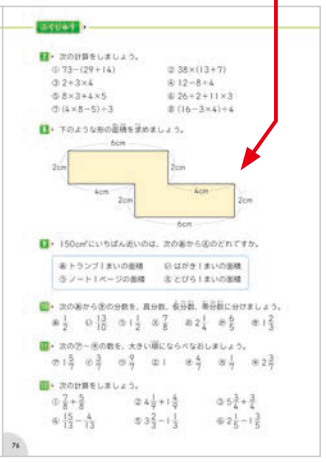
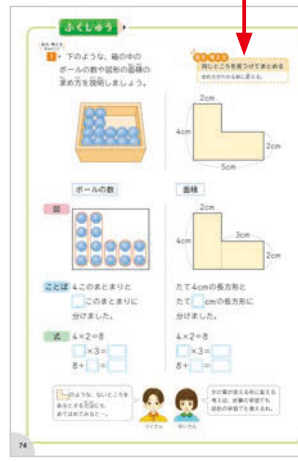
学習をたしかに



くっとチャレンジ 152ページ

本資料 p.41

復習



次の単元や学年へつながるよ。



5年・図形の面積 p.149



GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針 ①

基本方針 ②

基本方針 ③

配慮

資料

苦手やつまずきの克服と基礎・基本の確認

次の学習のために

新しい単元にはいる前に、これから学習する内容に関わる既習事項を確かめる「次の学習のために」を設けました。内容の系統性が明確な算数においては、基礎・基本を定着させるために、学習したことをくり返し確認することが大切です。

3年・□を使った式 4年・変わり方

□にあてはまる数をかきまし

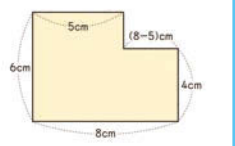
どの学年・単元で学んだかがわかります。

次の単元に関わる既習事項を押さえることで、新しい学習にスムーズにはいることができます。

ヒントと答え



3のヒント
式を分けて考えましょう。
 $6 \times 5 + 4 \times (8 - 5)$
 6×5 $4 \times (8 - 5)$



デジタルコンテンツでは、問題を解く手がかりが表示されます。
▶ 本資料 p.7

もくじ

もくじに配した「これまでの学習」は既習事項とのつながりを示しています。



4年下表2

前に学習した内容を確認することで新しい学習のはじまりがスムーズだね。



次の学習のために

3年・□を使った式 4年・変わり方

1 いろいろな式について考えます。次のことがらで□や△を使って式に表しましょう。
① 5mのテープから□m切り取ったときの残りの長さ△m
② 1冊150円のノートで□冊買ったときの代金△円
③ 60kmの道のりを走る車の時速□kmとかかる時間△時間
④ 1個90円のプリンを□個買って、150円の箱に入れたときの代金△円

2 □にあてはまる数をかきましよう。
① □ + 45 = 76 ② □ - 24 = 52
③ 8 × □ = 40 ④ □ × 5 = 100
⑤ □ + 7 = 9 ⑥ □ + 3 = 27

4年・変わり方 5年・比

3 縦が1cm、横が4cmの長方形があります。この長方形の縦の長さが2cm、3cm、...と伸びていきます。そのとき、長方形の面積はどのように変わりますか。
① 縦の長さとの面積の関係を調べて表をつくりましよう。表のあいているところに数をかきましよう。

縦の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	7
面積(cm ²)							

② 縦の長さを□cm、面積を△cm²として、□と△の関係を式に表しましよう。
③ 縦の長さが12cmのときの面積を求めましよう。
④ 面積が72cm²のときの縦の長さを求めましよう。

6年p.27

次の学習のために

4年・面積

1 右の長方形の面積を求めましよう。□にあてはまる数やことばをかきましよう。
① 面積は、1辺が□cmの□がいくつ分て表します。
② この長方形は、1cm²の正方形がたてに□個、横に□個ならびます。
③ この長方形の面積は、1cm²の正方形が□個分て、□cm²です。

4年・面積

2 下のような長方形や正方形の面積を求めましよう。
① ② ③

4年・面積

3 右のような形の面積を、次の式で求めましよう。どのように求めたかがわかるように、図に線をかきましよう。
 $6 \times 5 + 4 \times (8 - 5)$

5年p.17

練習問題

2 $6.56 + 0.84$ を筆算でましよう。

答えは、7.4だわ。

筆算のしかたをさらに考えまよう。

3 $4.17 + 5.2$ を筆算でましよう。

次の①と②のどちらが正しいか話し合いましよう。

① $\begin{array}{r} 4.17 \\ + 5.2 \\ \hline 4.69 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 4.17 \\ + 5.2 \\ \hline 9.37 \end{array}$

③ $\begin{array}{r} 4.17 \\ + 5.2 \\ \hline 9.37 \end{array}$

小数のたし算の筆算は、小数点の位置をあわせ、位をそろえて計算ましよう。

④ $3.94 + 1.76$ ⑤ $9.23 + 0.47$ ⑥ $0.98 + 5.12$
⑦ $3.21 + 1.5$ ⑧ $3.7 + 2.48$ ⑨ $1.8 + 0.69$
⑩ $6.29 + 13.5$ ⑪ $24.7 + 2.86$ ⑫ $3 + 4.25$

かりさんは、 $2.32 + 6.5$ の計算を右のようにましよう。正しいかまちがいか答えましよう。また、そのわけも説明ましよう。

4年上p.100

大問には必ず練習問題を用意しています。①のように網掛けをしている問題は、その時間に学習した型を示しています。

計算問題にはデジタルコンテンツとして追加の練習問題を用意しています。▶ 本資料 p.7

小数

4.58 + 0.82 =

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 .

練習

どうしてが/いえるかな/の問題では、なぜそうなるのかを言葉で説明する問題を用意しています。

〇〇までに学習したこと(巻末)

前学年または前巻までに学習したことのうち、当該学年の学習内容に関わる既習事項を整理しました。子どもが自身の理解度を確かめられるだけでなく、新たな問題を考える際の手助けにもなります。

上巻では前学年までに、下巻では前巻までに学習したことを扱っています。

どの学年・単元で学んだかがわかります。

3年までに学習したこと

1 100以内のたし算とひき算
2 100以内のかけ算
3 100以内のわり算
4 100以内のたし算とひき算
5 100以内のかけ算
6 100以内のわり算

4年までに学習したこと

1 計算のやり方
2 長さの単位
3 面積の単位
4 面積の求め方
5 面積の単位
6 面積の求め方
7 面積の単位
8 面積の求め方
9 面積の単位
10 面積の求め方

5年までに学習したこと

1 1000以内のたし算とひき算
2 1000以内のかけ算
3 1000以内のわり算
4 1000以内のたし算とひき算
5 1000以内のかけ算
6 1000以内のわり算

6年までに学習したこと

1 1000以内のたし算とひき算
2 1000以内のかけ算
3 1000以内のわり算
4 1000以内のたし算とひき算
5 1000以内のかけ算
6 1000以内のわり算

4年下p.164-165

4年上p.162-163

定義など、大切な用語は太字で示しています。

苦手やつまずきの克服と基礎・基本の確認

単元末には「わかっているかな」「たしかめよう」からなる「学習をたしかに」を新設しました。子どもがつまずきや、見方・考え方を価値づける内容にも焦点をあてています。

学習をたしかに わかっているかな

「わかっているかな」は、**A**「まちがいやすい問題」と **I**「見方・考え方をみがこう」で構成しています。

A 全国学力・学習状況調査などの結果をもとに、子どもがつまずきやすい内容を取り上げています。

I その単元で働かせた数学的な見方・考え方がさらに豊かで確かなものへとなっていくような問題を取り上げています。

【学習指導要領との関連】
各学年各領域の目標である「**A** 次のような知識及び技能を身につけること」「**I** 次のような思考力、判断力、表現力を身に付けること」にも対応しています。

2年下p.71

2年下p.77

2年下p.73

それぞれ単元内への誘導を掲載

学期末や学年末の「復習」にも、「見方・考え方をみがこう」の問題を設定し、統合的・発展的に考えることへとつなげていきます。

学習をたしかに たしかめよう 「たしかめよう」は、その単元全体の確認問題です。

2年下p.78

2年下p.78

わからなくなってもすぐに単元内に戻れるよう、参照ページを示しています。

2年下p.76

応用的・発展的な問題を載せている「ぐっとチャレンジ」への参照ページを示しています。

→ 本資料 p.41

よみとろう あらわそう

図を使って考える学習が苦手な子どもたちのために、図や式、ことばの関連、テープ図や数直線図のよみ方・かき方を系統的に整理して、図を使いこなせるようにしました。

5年p.193

5年p.314

図・表記に関する系統は、本資料 p.64-67 にくわしく掲載しています。

GIGAスクール

校種間の連携

個別最適な学び

教科書の構成

基本方針 1

基本方針 2

基本方針 3

配慮

資料

「倍」の単元の新設

子どもたちにとって、難関であるといわれてきた「倍」「割合」に関する学習について、低学年からていねいに積み上げていくことを意図し、3年以降に「倍」と「割合」に特化した単元を設けました。

2年

2年下p.15

2年下p.15

2年から「倍」について取り上げています。

3年

3年下p.74

第1用法、第2用法、第3用法のすべてを取り上げています。

4年

4年上p.126

整数倍への適用に続き、簡単な割合について取り上げています。

5年

5年p.192

13 倍を表す小数

14 分数と小数、整数

15 割合

5年p.1

「割合」の単元の近くに「倍」に関する学習を配置しています。

6年

6年p.74

6年p.74

デジタルコンテンツには数直線ツールを用意しています。

6年p.78

倍を扱う単元には必ず演算決定を考えるページを設けました。